

北野小学校
学校だより

松風

鷹栖町立北野小学校
文責：教頭 尾中康裕
第 11 号
令和5年1月31日

一日一日を大切に

校長 北島 信

令和4年度のまとめの学期である三学期が、1月17日にスタートしました。学校に子ども達の歓声が響き渡り、冬休みの間、寒々としていた校舎に再び活気が戻ってきました。

さて、新しい年が明けて、ひと月がたちました。「一年の計は元旦にあり」と言われていますが、新年を迎えて子ども達は「こんなことを続けよう」「あんなことも始めよう」と新たな決意を抱き、ご家庭でもお話されることがあったのではないのでしょうか。

「明確な目標を持ち」「実現のための計画を立て」「計画に基づいてコツコツ実行する」この3つのことをしっかりと行えば、素晴らしい一年になることは間違いありません。しかし、それを実行することは、なかなか難しいものです。

昨年のサッカーW杯カタール大会で、「ブラボー！」と絶叫し、一躍時の人となった長友佑都選手は、実は中学校3年までは「走るのが苦手」でした。自分でも足が速いとは思っておらず、たまたま駅伝の練習で走り込みをするようになり、それを続けていたらスピードもついてきたというのです。才能を自分で限定するのではなく、努力によって引き出していく長友選手の流儀はこの頃から身についていったのです。

「大切なのは才能を呼びさますこと。僕自身、自分の中にまだまだ凄い才能が眠っていると信じている」

Jリーガー、日本代表、海外ビッククラブで活躍……。次々に夢を叶えていった長友選手が、成長を続けられた背景にはこうした考え方があったのです。

長友選手は、周囲の評価に関係なく、常に夢を持ちつづけ、それを公言してきました。誰に何を言われても、時には笑われても夢を口にするのをやめませんでした。

長友選手の夢は「世界一のサイドバックになること」そして「W杯で優勝すること」。

長友選手は「Jリーガーになる」と公言していた小学生時代「21世紀の夢」と題した作文にこんな一文を残しています。「僕の夢はイタリア（セリエA）で自分の好きなサッカーをすることです」

夢を見ること、夢を誰かに言うこと、宣言することはなかなか勇気のいることです。長友選手はその時の自分の状況にかかわらず夢を公言することで自分を奮い立たせ、自分で描いた夢に追いつき、そして追い越すことでさらに大きな夢を叶えてきました。「世界一のサイドバックになる」究極の夢の実現のために長友選手は今日も汗を流しています。

目標をもち、夢を実現し、運命を変え人生を変えてきた長友選手の今後の活躍が楽しみです。私たちも、「諦めなければ夢は叶う」を肝に銘じ、一日一日を大切にして努力を続ける子ども達を支えていきたいものです。子ども達はまず、生活面や学習面での目標をもつことから始まります。今年はどうな目標を立てたのでしょうか？

【人生十変化】

夢（魅力的な目標）を持てば、心が変わる。

心が変われば、態度が変わる。

態度が変われば、行動が変わる。

行動が変われば、習慣が変わる。

習慣が変われば、人格が変わる。

人格が変わると、出会いが変わる。

出会いが変われば、運命が変わる。

運命が変われば、人生が変わる。

人生が変われば、世界（周囲・会社）が変わる。

（夢実現を加速するツール「宝地図」ナビゲーター望月俊孝氏がインドのヒンズー教の経典「人生七変化」に「出会いと夢」を加えて「十変化」としたものです。）

三学期は、学年で最も短い学期ですが、年度の最後のまとめの大切な学期です。このまとめの学期の最後には、3月17日(金)に卒業式、24日(金)に修了式があります。そして、4月を迎えると6年生は中学校に進みます。5年生は最高学年の6年生になり学校をリードします。1年生から4年生までは、進級して新しいことにチャレンジします。今年度1年間が「がんばったな。」と実感できるよう、一人一人が力を蓄え「次の学年も頑張るぞ」と思えるよう支援と指導にあたりたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様の一層のご支援をお願いいたします。

北野っ子冬集会

異学年交流活動と、仲間同士のつながりを深めることを目的とした「北野っ子冬集会」を1月31日に行いました。今回は、コロナの影響で全校で集まることはできませんでしたが、6つの班に分かれ5・6年生が中心となって考えたゲームをそれぞれのグループで行いました。「北野活動」は、この集会が今年最後の活動となります。集会の最後には6年生に感謝の言葉を伝え1年のまとめとしていました。

スキー学習が始まりました！

今年度のスキー学習が始まりました。今年も鷹栖町スキー連盟から講師をお迎えし、子どもたちに、小グループで分かりやすいスキーを教えていただくことになっています。日頃からこのように、鷹栖町の子どもたちのために、あたたかく見守っていただき、学習に関わってくださっている地域の方々に感謝いたします。

学校評価アンケートの結果について

お忙しい中、保護者の皆様にはアンケートのご協力に感謝いたします。結果について裏面に載せています。なお、保護者記述について、質問等がありましたので、回答を載せました。コロナ関係、タブレット関係については、1月31日段階の回答です。道の通知や今後のコロナ・インフルエンザの感染状況によって変わりますのでご承知おきください。

1月の行事予定

- 一日（水）朝会・交通指導日・委員会
- 二日（木）スキー学習五年・六年
- 三日（金）スキー学習二年
- 六日（月）スキー学習二年・四年
- 七日（火）新一年生一日入学
- 八日（水）スキー学習一年
- 九日（木）スキー学習二年
- 十一日（土）建国記念の日
- 十三日（月）スキー学習三年・四年
- 十五日（水）ふるさと共育一年・六年・交通指導日
- 十六日（木）参観日六年
- 二十日（月）六年生を送る会
- 二二日（火）参観日一年・四年
- 二三日（水）参観日三年
- 二三日（木）天皇誕生日
- 二四日（金）参観日二年・五年



学校評価 保護者アンケートの結果について

回収率83% (156通)

		前期	後期
1	学校（先生）は子どもたちに基礎・基本を大切にわかる授業を行っていると思いますか	3.54	3.51
2	学校（先生）は、子ども一人一人に目を向けて指導していると思いますか	3.39	3.47
3	お子さんは、めあてや課題解決に向けて粘り強く取り組むことができていると思いますか	3.08	3.08
4	お子さんは、元気に楽しく学校に通っていると思いますか	3.55	3.45
5	お子さんは、本を読むのが好きですか	2.6	2.56
6	お子さんは、タブレットを使った授業が好きだと思いますか	3.45	3.33
7	お子さんは、友だちと仲良くし、思いやりのある子に育っていると思いますか	3.38	3.35
8	お子さんは、基本的な生活習慣が身についていますか （「早寝・早起き・朝ごはん」運動の取組と関連した質問です）	3.24	3.19
9	お子さんは、「自分の命は自分で守る」という意識が高まっていると思いますか	3.06	3.15
10	お子さんは、家庭でどのくらいの時間学習していますか。（全学年で学習している割合）		
家庭学習時間	60分以上	3%	5%
	50分くらい	7%	8%
	40分くらい	15%	12%
	30分くらい	26%	34%
	20分くらい	26%	25%
	10分くらい	17%	12%
	ほとんどしない	5%	4%
	その他	0%	0%

保護者の皆様(記述)から (→は 学校からの回答)

・ タブレットの持ち帰りか必須となると登下校時の手荷物が増え、冬道で転倒した際に地面に手が付けず心配です。家庭学習の習慣がある程度定着している場合には、タブレットでの課題を必須とせず、家庭学習(自学)の取組を優先させていただきたいです。担任の先生から teams や e ライブラリなどで共通の宿題や課題が提示される場合には、家庭にパソコンがある場合には、家庭の端末でログインして取り組むなどするようにしていただきたいです。(他1件)

→タブレットを持ち帰る際は、他の教科の荷物が少なくなるよう配慮していきます。家庭でのパソコンの使用については、現状では厳しいですが検討していきます。

・ 出席停止中のタブレットを使った授業への参加ですが、先生の声が聞こえにくかったり、こちらの声が先生に届かなかったり。PCがかたまったり、リモート授業では理解するのに限界を感じました。(今回、2週間リモートでした)リモート授業中の範囲を理解できているか不安を感じます。

→リモート学習は教師も含め、これから何度も積み重ねをおこなうことで、成果・課題が見えてきます。ご意見としての課題を改善できるよう努めていきます。

・ 電気代が高騰しているなかで、タブレットを自宅で充電しなければならないのはなぜでしょうか。学校で充電はできないのでしょうか?電気代の負担は家計の圧迫です。

→学校ですぐに使用できるようにするためにご家庭でも充電していただくと助かります。ご理解とご協力をお願いします。

・ 水筒の水はほぼ飲んでできません。夏場には帰宅後、熱中症らしき症状があることも数回ありました。

→水を飲むようにご家庭でもご指導ください。またそれがあたりまえだと思ふような子を学校・保護者とも連携して育てていきたいと思います。

・ 個々のレベルに合わせ教科書レベルでの授業は受けさせてもらっていただいていると思います。可能であれば各科目ごとにレベルアップした内容のプリントや考え方などを教えていただければ、より能力アップができるなと思っています。

→授業の進度、児童の実態を鑑み、対応できるよう進めていきます。

・ 学習時間がかかり減っています。1~2年生の頃は30分行っていましたが、文化活動や習い事も増えたためです。タブレット式の宿題は、残念ながらお互い便利でしょうか?効果はあるのでしょうか?やはりプリント式が良いかと思っています。先生方には感謝しかありません。

→タブレットの学習に限らず、プリント学習も進めていくようにしていきます。

・ 学校だよりでの発信が教頭が代わるたびに乏しい内容になっているように感じています。年度はじめの職員の紹介や各学年の取り組みなどごく当たり前のことでいいので地域に発信してください。

→先生方や子どもたちの頑張りが伝わるようなものに工夫していきたいです。

・ 冬の登下校のマスクは必要でしょうか? 雪で見づらく足下も悪いし、濡れる事、足下が悪いので呼吸も乱れ苦しいのではないかと、メリットがないと思います。ご検討ください。登下校でしている子が多く見られます。

→道教委の通知、通達どおり学校は対応していきます。1/31 現在では、登下校については、児童の距離が離れているのであれば、マスクは必要ありません。マスクをつける、外すについては、お子さんと十分に話し合ってください。

・ 陰湿ないたずらをする子がクラスにいるようです。いじめにつながっていないか心配です。先生に言うと、ばれたときがこわいと言って言い出せずにいるようなので、時々全員に、お友達同士でのことなど聞いてほしいと思います。(個別)先生の知らないことが出てくる気がします。コロナ禍でもなるべく行事や交流を続けてくださることに大変感謝しています。

→担任をはじめ、児童が相談できやすい環境づくりに努めます。いじめなど疑わしいものについては、電話や連絡帳で担任へ連絡してください。即対応します。

・ 高学年としての自覚や行動ができるようになると良いなと思います。

・ コロナの影響でなかなか難しいですが、他学年との交流が増えると良い。

・ 日々の学習指導、コロナ禍の諸対応お疲れさまです。